EA800MW(超軽量カートリッジ式前面マスク)取扱説明書

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きます様お願い致します。

◆仕様

●2缶式タイプ
●4点式の締め紐でしっかり固定
●カートリッジは別売のEA800MV-11～EA800MV-17よりお選び下さい。
●フィルター(EA800MV-21、EA800MV-22)をご使用の際は、
カートリッジ(EA800MV-11～EA800MV-17)とフィルターカバー(EA800MV-23)が必要です。
※フィルターは防塵仕様に必要です。

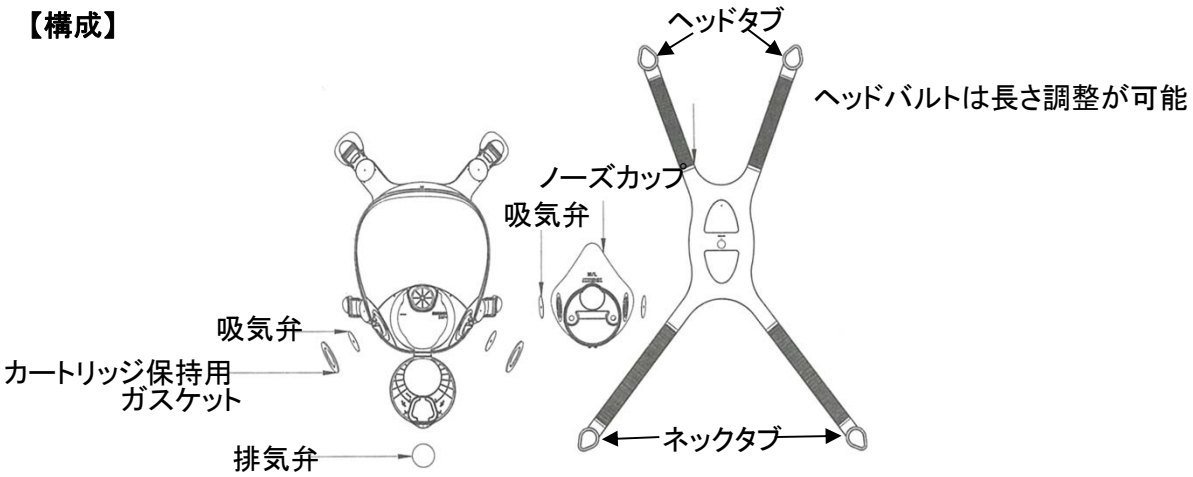
カートリッジ (2個入)

品番	名称
EA800MV-11	有機ガス
EA800MV-12	酸性ガス
EA800MV-13	有機ガス/酸性ガス
EA800MV-14	アンモニア/メチルアミン
EA800MV-15	ホルムアルデヒド
EA800MV-16	マルチガス
EA800MV-17	P100微粒子

①認証範囲については、NIOSHラベルをご覧下さい。
②OSHAの規制では、ホルムアルデヒトに対して
使用する際にガス防止用保護ゴーグルの使用を
義務付けています。

◆各部名称

【構成】



◆用途

以下に対して使用して下さい。

1. NIOSH（米国国立労働安全衛生研究所）認証のラベルや表、カートリッジ、フィルターで規定され、OSHA（米国労働安全衛生局）などのあらゆる制限と安全と健康に関する規制に沿った汚染物質。
2. 匂いや味、刺激など、警告の役割を果たす性質を備えた汚染物質

以下に対しては使用しないで下さい。

1. 未知の汚染物質または生命や健康に直接の脅威をもたらす汚染物質の濃縮物。
2. 定性的フィットテストでは、
   最大使用濃度またはOSHAによる許容暴露制限（PEL）の10倍を超える汚染物質の濃縮物。
3. 定量的フィットテストでは、
   PELの50倍を超える汚染物質の濃縮物。または適用される政府の規制で定められた
   汚染物質の濃縮物。
4. 警告となる形質を持たないガスや気体、または高い熱反応を生じさせるガスや気体、
   並びにイソシアン酸塩を含有する塗料スプレー。
5. サンドブラスト。
6. Nフィルターのオイルミストへの使用

警告

**1. マスクの使用と暴露時間中の着用に関する指示と警告には、全て従ってください。
従わない場合には、マスクの有効性や着用者保護機能が低下し、疾病や死亡に
つながる恐れがあります。**

2. 適切な使用方法については、現場責任者に尋ねるか、代理店までお問い合わせ下さい。

**3. 使用者はまず初めに、予定される作業場での汚染と暴露のレベルに合わせ、
健康と安全の基準に沿った適切なマスクの使用法に関する研修を現場責任者から、
受けなければなりません。
文書化された呼吸トレーニングプログラムを配置し、各使用者が初めて使用する際には
それに従う必要があります。
プログラムは、OSHA 29 CFR 1910.134やカナダのCSA Z 94.4などのトレーニングや
フィットテスト、医学的評価、OSHA特定物質基準など、あらゆる適用基準の求める要件を
満たす必要があります。**

**4. 気体やガス、ほこり、噴霧、煙などの汚染物質で、ご使用者の健康に害を及ぼす可能性が
あるものには、目に見えない無味無臭の物質も含まれます。**

**5. 作業場の汚染物質に対応できる適切なカートリッジやフィルターについては、現場責任者と
確認して下さい。**

**6. 最大10倍のPELに対する定性的フィットテストや、最大50倍のPELに対する定量的
フィットテストは、マスクを配布する前に実施しなければなりません。
最新のOSHA 29 CFR 1910.134 (f)をご覧下さい。**

◆制限

1. 当マスクは酸素を供給しないため、酸素含有率が19.5%以下の空気中では使用しないで下さい。
2. 呼吸困難やめまい、吐き気などの身体的苦痛が生じた場合には、汚染エリアから出て下さい。
3. マスクやカートリッジ、フィルターに損傷や歪みがある場合、適切に装着できない場合、
   汚染物質による味や匂い、刺激を感じる場合、または呼吸が困難になった場合は、
   汚染エリアを退出し、マスクやカートリッジ、フィルターを交換して下さい。
4. マスクの改造や改修、乱用はしないで下さい。
5. マスクは、清潔で乾燥した非汚染エリアで密閉バッグに入れて保管して下さい。
6. 面体やカートリッジ、フィルターは、現場責任者の方針と適用される規制に従って破棄して下さい。
7. 塵（微粒子）に対してはNやR、Pのフィルターが必要です。
8. オイルミストがある場所では、固形微粒子の有無にかかわらず、
   RやPのフィルターは1回で8時間のワークシフトを超えて使用しないで下さい。
   使用開始後、8時間が経過するまでに廃棄して下さい。
   定量的フィットテストまたは定性的フィットテストのいずれを実施したかに基づき、
   10倍または50倍のPELを超えないようにして、また防じんマスク当たり200mgの負荷を
   超過しないようにして下さい。
   PELと汚染物質の濃度、使用者の最大作業量といった、フィルターへの負荷を見積もるための
   作業場の情報は、ご使用者の責任で把握して下さい。
   オイルミストがある場所では、Nフィルターを使用しないで下さい。
9. カートリッジやフィルターは全て、a)初回使用から、または、b)密閉バッグからの取り出しから、
   30日目までに廃棄して下さい。
10. カートリッジやフィルター、面体は、箱や袋に印刷された有効期限までに使用して下さい。

警告

◆NIOSHによる警告と制限

以下の制限が当てはまる場合があります。NIOSH認証ラベルを確認して下さい。

・空気中の酸素含有率が19.5%未満の環境では使用できません。
・生命や健康を即座に脅かす環境下では、ご使用になれません。
・規制基準値とされる最大使用濃度を超えた環境下では使用しないで下さい。
・カートリッジは破過が発生する前に確実に交換できるよう、所定の交換時期を守って下さい。
・本製品の使用とメンテナンスを適切に行わない場合は、傷害や死亡事故につながる恐れがあります。
・カートリッジやフィルターの交換については、取扱説明書に従って下さい。
・認証済みのマスクは全て、MSHAやOSHAなどの規制に沿って選択や装着、使用、保守される必要があります。
・部品の代替や改造、追加、省略は決してしないで下さい。
メーカー指定の構成で、的確な交換部品のみをご使用下さい。
・NIOSHでは、防じんマスクを外科手術用マスクとしての用途で評価していません。

◆事前検査

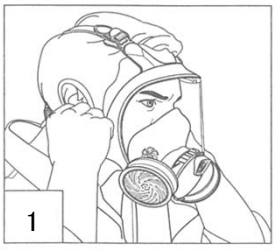
装着前、及び、装着後に、マスクを検査して下さい。
下記事項が確認された場合には、装着しないで下さい。

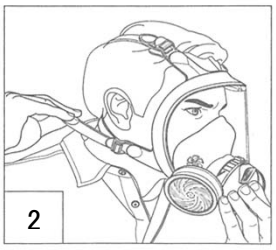
1. ヘッドベルトに何らかの破れや切断、損傷がある。
2. バックルやフランジのタブに欠損や損傷、破損がある。
3. 面体にひび割れや破損、歪み、汚損がある、また、穴が空いている。
4. 吸気、排気弁やガスケットに欠落や破損、損傷がある、また、適切に密閉されていない。
5. カートリッジの使用期限が間近で、ひび割れや破損がある、また、適切に密閉されていない。
6. 他のプラスチックやゴムの部品にひび割れや歪み、損傷がある。

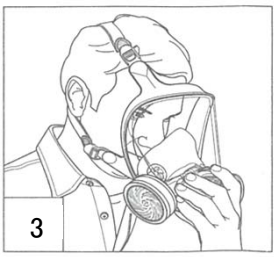
装着に関する指示事項

1. マスクを装着する際は、使用者は常に本取扱説明書の指示に従って下さい。
2. OSHA規制29 CFR 1910.134 (f)により、使用者はフィットテストを受けるよう義務づけられています。
3. 毛髪やひげ、顔まわりの装飾がある場合は、フィットしない原因となりますので装着しないで下さい。
4. マスクがフィットしない場合は、汚染エリアに入らないで下さい。

◆取扱方法







着脱について―取りつけ方

1. ヘッドベルト下部の両端を調整バックルの少し上でそれぞれ手でつかみ、フランジにあごを入れながら、ヘッドベルトを頭に掛けて下さい。(図1)
2. 片手でヘッドベルトのネックタブを引っ張って締めながら、もう片方の手で面体を顔面とあごに押しつけて、最も快適で密閉度の高い位置にして下さい。もう一つのネックタブでも同じように調整して下さい。
ヘッドタブを締める前に、ネックタブを最初に調整すると、簡単且つしっかりと密閉でき、フィットさせることが出来ます。(図2)
3. 顔面密閉部の圧が均等に分散されるように4つのタブを全て調整して下さい。
ヘッドベルトは頭部に沿っていなければなりません。
タブの上部と下部を均等に調整し、フェイスフランジが快適且つ、漏れがなく密閉できるようにして下さい。

着脱について―外し方

マスクを外す際は、バックルを押してヘッドベルトを緩めます。
次に、マスクのあご部分を顔から上方向に外してください(図3)。

◆フィットテスト

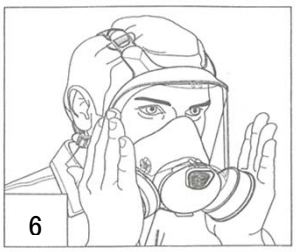
マスクを配布する前にテスト装置を用いて、
最大50倍PEL値の定量的フィットテスト（マスク内の漏れ量を数値的に測るテスト）及び、
最大10倍PEL値の定性的フィットテスト（テスト用試薬の味覚による検査）を実施して下さい。

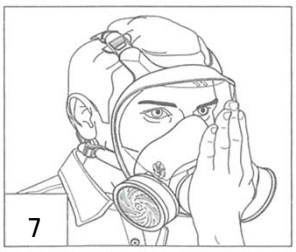
（参考）

PELとは…
OSHAのPremissible Exposure Limitsの略で
許容暴露限界のことです。

◆シールチェック

汚染地域に入る度に、ユーザーシールチェックを陰圧、陽圧とも行ってください。





●陰圧シールチェック： 両方のカートリッジを手で覆い、ゆっくりと息を吸って息を止めて下さい。
面体は少しくぼむはずです。
空気が漏れる場合は、面体の位置を調整し直してヘッドハーネスを強く引き、漏れがなくなるまで
シールチェックを繰り返して下さい（図6）。
●陽圧シールチェック：排気弁を手で覆い、ゆっくりと息を吐いて軽い陽圧をかけます。
空気が漏れる場合は、面体の位置とヘッドハーネスの張力を調整し直し、漏れなくなるまで
シールチェックを繰り返して下さい（図7）。

警告：きちんとフィットしない場合は、汚染エリアには入れないで下さい。
※マスクのシールチェックは、汚染エリアに入る度に、また汚染エリア内で装着している間も
定期的に行って下さい。
※現場の責任者には、防じんマスクによる顔面への密閉度合いを判断する責任があります。
使用前及び使用中に、どの程度密閉するべきか、そして適切な密閉度を保つための
調整タイミングに関する最終的な判断責任を負います。
また、密閉度が過度でも過小でも漏れの原因となり、保護効果が下がる可能性があります。

◆カートリッジ

●カートリッジの使用期限

鼻や喉に刺激やにおい、味を感じた場合は、汚染エリアを退出し、カートリッジを交換して下さい。
現場責任者にも相談して下さい。
OSHA 1910.134の指針に基づき、事前に定めたカートリッジ交換スケジュールに沿って交換を
行って下さい。
また、破過が発生する場合は、それ以前に交換する必要があります。
取替え時期は、お使いになる環境や使用暴露時間、濃度等の条件によって変化します。
一般概念的には、息苦しくなったらすぐに取り替えねばなりません。
要は、有毒ガスや粉塵の蓄積によるフィルターの根詰まりをもってその使用期限に達しますので、
有毒ガスの場合、濃度が高ければ高いほど、或いは使用頻度が高ければ高いほど、
その使用限界は短くなります。
（詳細につきましては代理店へお問合せ下さい。）

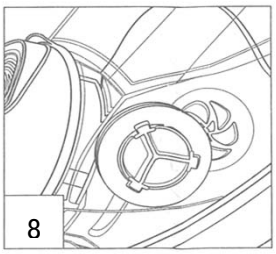
※OSHA 1910.134(d)では、カートリッジが使用期限までに確実に交換されるよう、
客観的な情報やデータに基づく交換スケジュールを設ける事を雇用者側に求めています。

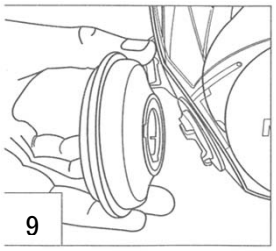
●カートリッジの組み立て

・最初に、面体やカートリッジのシーリング表面を検査し、清潔で損傷がないことを確認して下さい。
カートリッジ保持用ガスケットが所定の位置にあり、清潔で損傷がないことも確認します（図8）。
ガスケットが無いまま、カートリッジやフィルターを取りつけないで下さい。
密閉バッグから取り出したカートリッジのみを使用して下さい。

・カートリッジを面体に取り付けるには、カートリッジ上の3つの窪みを、面体からの3つの突起部にあて、
カートリッジが所定の位置に収まるまで時計回りに、それ以上回せない所まで回して下さい（図9）。

・カートリッジが固定され、面体にぴたりと沿っていることを確認して下さい。
次に、吸気弁に汚れや損傷がないことと、適切に据え付けられていることを確認します。





◆フィルター

●フィルターの組み立て

・カートリッジを組み立てる前に、面体のシーリング表面が清潔で損傷がないことを確認して下さい（図8）。

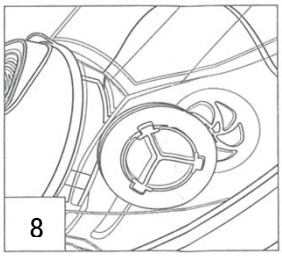
・カートリッジを面体に取りつけるには、カートリッジ上の3つの窪みを面体からの3つの突起部にあて、
カートリッジが所定の位置に収まるまで時計回りに、それ以上回せない所まで回して下さい。

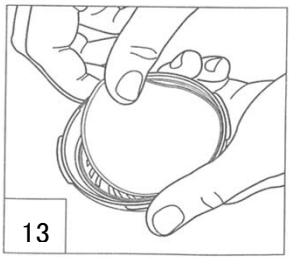
・内側も外側も面体にぴたりと沿って、適切に据え付けられていることを確認して下さい。

・フィルター(品番：EA800MV-21、-22)は、フィルターカバー(品番：EA800MV-23)に、
印（英字が書いてある）のある方が顔側にならないように入れて下さい（図13）。

・フィルターが適切に装着されたことを確認し、次にフィルターカバーを所定の位置まで締まるまで
カートリッジに押し込んで下さい。

・吸気用と排気用の弁に汚損や損傷がなく、適切に据え付けられていることを確認して下さい。





●フィルターの交換

古くなったフィルターを取り外すには、フィルターカバーをゆっくりと外して下さい。
古いフィルターを外し、新しいフィルターをフィルターカバー内部に、印（英字が書いてある）のある方が
顔側にならないように入れて下さい。
カートリッジの蓋が清潔で損傷がないか必ず確認して下さい。また、フィルターカバーは交換して下さい。

警告：

**フィルターカバー（品番：EA800MV-23）は、フィルター（品番：EA800MV-21、EA800MV-22）
専用になっております。
守らない場合には疾病や死亡事故につながる恐れがあります。**

◆カートリッジの交換時期

OSHA 1910.134 (d)では、カートリッジが使用期限までに確実に交換されるよう、客観的な情報や
データに基づく交換スケジュールを設けることを雇用者側に求めています。
（全文はOSHA 1910.134を参照）
カートリッジの有効な使用期限は、空気中の有害化学物質から適切に保護できる期間を指しています。
カートリッジの使用期限には、環境条件や呼吸速度、カートリッジのフィルタリング性能、
空気中に含まれる汚染物質の量といった多数の要因が介在します。

**※汚染物質の性質及び暴露量が判明している場合には、カートリッジ有効期間を予測でき、
安全にかかわる要因も当てはめることができます。**

交換スケジュールの策定には、何らかの客観的なデータを用いなければなりません。
カートリッジの有効期間を判断する選択肢には以下があります。

1. 実験的検査の実施
2. “Advisor Genius”や“Breakthrough Software”といった数理モデルの使用

OSHAのウェブサイトには、さまざまな化学物質の破過時間を算出する方法が他にも
記載されていますので、交換スケジュール策定への利用を検討しても構いません。
ただし、これらのモデルで算出した有効期間は実態とかけ離れるケースがあることに留意して下さい。
モデルから判明するのは大体の予測に過ぎません。
OSHAのウェブサイトに掲載されているモデルを利用する上で必要になる、
モルデックス製カートリッジ特有のデータとしては、以下があります。
・EA800MV-11の吸着性能は、有機蒸気炭素42.5g相当で、高さは2.06cm、内径は7.81cm。
・EA800MV-16の吸着性能は、有機蒸気炭素36.0g相当で、高さは2.06cm、内径は7.81cm。
・交換スケジュール用ワークシートは提供済(原文取扱説明書に記載欄有り)

◆カートリッジの詳細

警告
下記の加重は、MillerとNelsonのテストに基づく方法を使って導かれた予測値です。
他のカートリッジに特有なパラメーターについては、OSHAが提供するデフォルト値の
使用を推奨します。
最後に、OSHAモデルを使用するためには、製品安全データシート(MSDS)での記載や
化学メーカーから確認される、対象となる化学物質の他の関連データが必要になる
ことがあります。

これらのモデルは以下のページ、
www.osha.gov/SLTC/etools/respiratory/advisor_genius_wood/advisor_genius.html
で確認でき、"Advisor Genius"や"Breakthrough Applications"と呼ばれます。
モルデックスでは、OSHAモデルやOSHAが提供する他の手段を利用することをお勧めします。
モルデックスは、最も確実な(最も短い)破過時間を採用するよう、常に推奨しています。
これらの方法について詳しくは、以下のOSHAのウェブサイトをご覧下さい。
www.osha.gov/SLTC/etools/respiratory/advisor_genius_wood/advisor_genius.html
www.osha.gov/SLTC/etools/respiratory/change_schedule.html

◆メンテナンス

●面体の使用期限
面体の有効期間は、使用条件と暴露される汚染物質に左右されます。
これには、汚染物質の濃度(例えば、ケトンや芳香族溶剤では劣化のペースが早まります)、
暴露の時間、周辺温度などが含まれます。
面体を拭いたり清掃したりするときは、溶剤を使用しないで下さい。
マスクの寿命を縮め、使用者の健康を脅かすことになります。
材質にひび割れや、しわ、経年劣化の兆候が見られたら、直ちに面体を廃棄して下さい。
面体を歪め、フィットの度合いに影響する恐れがありますので、高い外気温(約70℃以上)には
さらさないで下さい。

●面体の清掃
日々の使用の後と、必要な場合には、さらに頻繁に清掃することが推奨されます。
面体から全てのフィルターとカートリッジ、ガスケット、吸気用/排気用弁、ヘッドバンドとノーズカップを
取り除いて下さい。
面体は暖かい石けん水で洗い、きれいな水で洗い流して空気乾燥させます。
洗剤で洗浄したり、高温にさらしたりはしないで下さい。部品を検査して組み立て直すか、摩耗や損傷、
歪みがある場合には、マスクを交換して下さい。

●吸気用/排気用弁の検査と清掃
吸気用弁は、ノーズカップ内部に2つあります。
排気用弁はバルブカバーの下です。ラッチを引いてバルブカバーを開け、弁を外してください。
弁を清掃し、汚損や漏れ、歪みなどの損傷がないことを確認して下さい。
洗浄や検査の後で、再度3つの弁を全て取りつけ、適切に装着したことを確認します。

●交換部品
モルデックス製マスク用の純正交換部品のみをご使用下さい。

●保管
注意:使用しない時や保管中は、マスクを過度の熱(約60℃以上)や危険物質にさらさないで下さい。
そうした暴露やこの規定に従わない方法で面体に歪みが生じると、適切にフィットしなくなり、
使用者を疾病や死亡のリスクにさらすことになります。

Moldex社製防じんマスクの使用に関する補足警告

本補足警告は、当製品をご使用のすべてお客様に、ご注意いただきたい警告及び使用上の制限事項を記載しております。Moldex社製防じんマスクの外箱・外装パッケージに記載されている警告や、その他公開されている関連情報に加えて、使用者の管理責任者が本製品をお使いいただくのに適切な環境下にあると判断された場合は、本書および取扱説明書に記載されているすべての制限・警告事項を守り、正しくお使い下さい。

本防じんマスクを正しくご使用されることで、CBRN(化学物質、生物物質、放射性物質、核兵器)への接触による疾病や死亡の危険性を軽減できますが、このような危険性を完全に排除することはできません。CBRNには、人体へ深刻な影響をもたらし、死亡に至らしめるような特定の細菌、有毒性物質、およびウィルスなどの危険性物質が含まれますが、これらの特定物質のみに限定されるわけではありません。CBRNが長期的、且つ短期的に人体へどのような危険をもたらすかは分かりません。本マスクをご使用される場合、米国疾病予防管理センター(CDC)、および米国内の居住地域、州および米国連邦政府の基準に準拠されなくてはなりません。本マスクはすべてのCBRN危険性物質に対応できるものではなく、特定のCBRN危険性物質に対してのみ有効です。

弊社または他社製マスクの中には防護レベルが高くより効果的な防じんマスクがございます。防じんマスクの使用有無、種類、サイズ、防護レベル、マスクの選定は使用者の責任と判断によって行い、弊社は一切責任を負わないものとします。

背景

米国疾病予防管理センター(CDC)の所属機関であり米国政府機関でもある米国国立労働安全衛生研究所(NIOSH)が産業有害汚染物質に対する防じんマスクの試験と認可を管轄しています。適切な呼吸保護具の選択と、正しい使用法については、米国職業安全衛生管理局(OSHA)等の政府機関にて規定されております。

米国国立労働安全衛生研究所(NIOSH)は、化学兵器、細菌兵器、生物学的有害物質を取り扱う際に使用する適切な防じんマスクの試験と認可を行っています。またそのような状況下での危険性に関する勧告を使用者に提供しております。米国職業安全衛生管理局(OSHA)などの政府機関では、通常このような物質による汚染に関する基準は定められておりません。

Moldex社は、CBRNの危険のある状況下における作業者及び一般使用者へいかなる防じんマスクの使用を推奨するものではありません。

CBRNはその存在や発生が確認できない場合があるのでご留意下さい。

ご使用になられるすべて皆様への警告

- 本マスクは、作業環境許容濃度限界値(PEL：Permissible Exposure Limit)内での物質を取り扱う場合には管理責任者の判断に基づいてご使用下さい。
- 本マスクを使用される場合は、必ず正しく装着できているかどうか確認して下さい。正しく装着できない場合には、本製品の使用を中止し、危険地域へは近寄らないで下さい。
- あごひげやもみあげ等をはやされている場合には、本製品が顔に直接密着できないため、使用しないで下さい。
- Moldex社の防じんマスクは、総合的な呼吸保護プログラムの一部として正しく装着した場合にのみ、使用者に対し空中に飛散する有害物質に対する危険性を軽減できます。ただし有害物質を完全に遮断することはできません。
- 不慮の事故や予測できない事態においてCBRNが発生した場合、本マスク以外に適切な防じんマスクがお手元にない場合に限り、危険回避の手段として本マスクをお使い下さい。汚染区域から離れるまではマスクを顔から絶対にはずさないで下さい。
- 本マスクを管理責任者の許可なしに、再利用しないで下さい。また再利用するために使用済みマスクを保管したり、首の回りに掛けるといったことは絶対にしないで下さい。使用済みマスクは管理責任者の指示に従って、有害危険物として廃棄して下さい。
- 管理責任者の指示によっては他の個人用保護器具をお使いになることがあります。防じんマスクに触れるとき、または防じんマスクを取り外す際には、必要に応じて保護グローブをはめて下さい。また防じんマスクと保護グローブは管理責任者の指示に従って廃棄して下さい。
- 米国疾病予防管理センター(CDC)、あるいは居住地域、州、および米国連邦政府が、特定危険有害物を取り扱う場合の防じんマスクの使用に関して、新しくガイドラインを発行したり、改訂したりした場合には、使用者はこれを厳守して下さい。

結核感染予防管理用に防じんマスクを使われる場合の警告

米国職業安全衛生管理局(OSHA),及び米国疾病予防管理センター(CDC) は、作業現場において結核感染を予防するプログラムの一環として、ＮＩＯＳＨ 42CFR84の認可を受けた防じんマスクの着用を奨励しています。

現在得られているデータからは結核感染に対する呼吸保護の効果を測ることはできませんが、総合的な呼吸保護プログラムの一部として、適切なMoldex社製防じんマスクを正しくご使用になることで結核感染への危険性は軽減されます。ただし、感染の危険性を排除することはできません。

- 以下に記載されている使用上の制限事項及び「ご使用になられるすべて皆様への警告」に記載されているすべての警告事項を厳守して下さい。
- Moldex社製のいかなる防じんマスクを使用した場合でも、当該国の保健衛生機関の総合的な呼吸保護プログラムにしたがって、フィルターを交換、廃棄して下さい。
- 殺菌剤で消毒したMoldex社製防じんマスクを再使用する場合は、当該国の保健衛生機関に問い合わせ、再使用する防じんマスクとご使用の殺菌剤との適合性を確認して下さい。
  殺菌剤を使用することで、防じんマスクの効果が失われ、適切な保護ができなくなる場合があります。

使用上の制限事項

- 防じんマスクを使用することで、大気中の危険物質、病原菌に接触、あるいは感染する危険性を軽減することができます。しかしながらこうした危険性を完全に排除することはできません。Moldex社製の防じんマスクは、必ず総合的な呼吸保護プログラムの一部としてご使用下さい。正しく装着できない場合は、防じんマスクで呼吸器官を保護することができません。加えて、感染物質やNIOSHの試験微粒子よりさらに小さい微粒子を含む潜在的危険物質が、大気中に存在している可能性があります。ある公表されたデータでは、これらのより小さい微粒子物質は、NIOSHで認可された防じんマスクを着用する際に使われている試験微粒子[Ｎシリーズ(CMD: Count Median Diameter0.075±0.02μm)、(GSD: Geometric Standard Deviation 1.86) Ｒ＆Ｐシリーズ(CMD: 0.185±0.02μm)]と同様の遮断効果は得られませんでした。適切な呼吸保護手段を選択される前に、使用者の責任において、お使いの環境下でどのようなサイズの危険微粒子が存在しているかをご判断下さい。また、特に上記に記載したようなさらに小さな微粒子が大気中に含まれる可能性のある環境でのご使用の際には、使用者の責任においてCDCのガイドラインを参照の上、どのような防じんマスクが適切かを選択しご使用下さい。
- 防じんマスクに液体（血液や体液を含む）が付着した場合には、汚染区域からできるだけ早く出て、汚れたマスクを廃棄し、新しいマスクと交換して下さい。
- Moldex社製の防じんマスクは、小さなお子さまには絶対にご使用にならないで下さい。

Moldex社製防じんマスクの詳細につきましては、Moldex-Metric米国本社（+1 (310) 837-6500 内線554）、モルデックスジャパン株式会社（+81-6-6225-1030）までお問い合わせいただくか、使用者の管理責任者、あるいは、米国CDC疾病予防管理センター (www.cdc.gov +1 (404) 498-1515）までお問い合わせ下さい。

PVCフリー

再生紙を使用しています

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL (06)6532-6226　FAX (06)6541-0929